

少数台数のリコール届出の公表について (令和5年8月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、令和5年8月は10件の届出がありましたので公表します。

なお、対象が100台未満となるリコールで、既に公表済みのものについては、こちらへの記載はしておりません。

1. 届出者：ジャガー・ランドローバー・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
8月1日	外 3652	車名：ランドローバー 型式：3CA-LE72WAB 通称名：DEFENDER 130	34	令和4年11月5日～ 令和5年3月9日
不具合の部位等	3列目シートバックのラッチ部におけるロックプレートについて、作業指示が不適切なため、誤って組付けられたものがある。そのため、シートの固定が不完全な場合があり、衝突時等の急減速が発生するとシートが前方に倒れ、最悪の場合、乗員が負傷するおそれがある。			

2. 届出者：ジャガー・ランドローバー・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
8月1日	外 3653	車名：ランドローバー 型式：3BA-LKB447A 通称名：レンジローバー	2	令和4年8月5日～ 令和4年10月3日
不具合の部位等	2列目の左側シートフレームにおいて、作業管理が不適切なため溶接不良のラッチが装着されているものがある。そのため、シートが正しく固定されない場合があり、衝突時等の急減速が発生するとシートが前方に倒れ、最悪の場合、乗員が負傷するおそれがある。			

3. 届出者：株式会社小松製作所

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
8月10日	5365	車名：コマツ 型式：YDS-WA142 通称名：WA470-10	39	令和元年6月20日～ 令和5年3月31日
不具合の部位等	ショベル・ローダの作業機コントローラにおいて、プログラムが不適切なため、キーON後に自動的に開始される自己故障診断中に電源電圧が低下すると、自己故障診断が正常に終了しない状態となる。なお、この状態でも走行および作業は正常に行えるが、万が一走行中にトランスミッションの配線短絡を併発した場合、急停止する。			

4. 届出者：ビー・エム・ダブリュー株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
8月16日	外 3621	車名：BMW 型式：3BA-5F20 通称名：BMW 320i	1	令和3年2月23日
不具合の部位等	助手席シートフレームにおいて、部材加工工程に不備があり、アウターブラケットが湾曲した状態でシートフレームへ溶接されたことにより溶接不良となっているものがある。そのため、走行振動により溶接部分が破損し、シートの安定性が失われるおそれがある。			

5. 届出者：ドゥカティジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
8月21日	外 3668	車名：ドゥカティ 型式：8BL-3G00 通称名：ディアベル V4	69	令和5年4月30日～ 令和5年6月14日
不具合の部位等	エンジン冷却装置において、エンジン冷却用電動ファンモーターの設計が不適切なため、電動ファンのヒューズが過電流により切れる場合がある。そのまま走行を続けると、オーバーヒートが発生し、最悪の場合、エンジンが停止し再始動ができなくなる恐れがある。			

6. 届出者：スズキ株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
8月31日	5370	車名：スズキ 型式：3BD-DA16T 通称名：キャリイ 他	4	令和4年5月17日～ 令和5年2月23日
不具合の部位等	手動式の前照灯照射方向調節装置付きのすれ違い用前照灯において、不適切な調節位置で光軸の調整、検査を行ったものがある。そのため、光軸が保安基準を満足していないおそれがある。			

7. 届出者：AZAPA株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
8月31日	5374	車名：ダイハツ 型式：5BA-LA350S 改 通称名：ミラ イース	7	令和5年6月9日～ 令和5年8月8日
不具合の部位等	電気自動車に改造した車両において、DCDCコンバータ及び車載充電器一体ユニットの高圧ハーネスのコネクタ部の防水性が不適切なため、雨天走行時等にコネクタ内部に水が浸入することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、高圧部の絶縁性が低下するため、フェイル機能により電源供給を遮断して走行不能になる、あるいは充電できなくなるおそれがある。			

8. 届出者：ルノー・ジャポン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
8月31日	外 3655	車名：ルノー 型式：ABA-DFM5P 通称名：アルピーヌA110	79	平成30年4月5日～ 平成30年9月18日
不具合の部位等	クーリングファンモーターの駆動回路において、回路設計が不適切なため、本来不要なダイオードが取り付けられている。そのため、ファンモーターが空転している際に発生する逆起電力がダイオードに印加して発熱し、最悪の場合、焼損臭が発生するおそれがある。また、駆動回路のヒューズ容量設定が不適切なため、回路が短絡等し許容量以上の電流が流れた場合であっても、ヒューズが切れず、最悪の場合、配線が損傷し火災に至るおそれがある。			

【参考】

●令和5年8月のリコール届出件数

		内 訳	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	13 (+11)	8 (+6)	5 (+5)
輸入車	12 (+2)	7 (+4)	5 (-2)
計	25 (+13)	15 (+10)	10 (+3)

※ () 内は、対前年度同月比

●令和5年度のリコール総届出件数及び総対象台数

<速報値>

	届出件数			対 象 台 数		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	17(+1)	11(-10)	28(-9)	409,601(-114,826)	51,160(+44,437)	460,761(-70,389)
5	10(-2)	7(-6)	17(-8)	284,817(+36,624)	17,802(-5,317)	302,619(+31,307)
6	19(+2)	18(-12)	37(-10)	1,091,490(+811,189)	41,376(-144,868)	1,132,866(+666,321)
7	17(±0)	13(±0)	30(±0)	1,163,322(+717,426)	198,920(+174,495)	1,362,242(+891,921)
8	13(+11)	12(+2)	25(+13)	30,800(+28,086)	4,162(-3,813)	34,962(+24,273)
小計	76 (+12)	61(-26)	137(-14)	2,980,030(+1,478,499)	313,420(+64,934)	3,293,450(+1,543,433)

※ () 内は、対前年度同月比

(問い合わせ先)

国土交通省自動車局審査・リコール課 リコール監理室 千葉・筑紫 電話 03-5253-8111 (代表) (内線 42361)
